



“心豊かに
笑顔あふれる”

青森県
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.
103

平成27年 9月18日



地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成することを目的に、当センターで実施している「パワフル AOMORI! 創造塾」では、7月25日に三村知事をお迎えし、特別講座を開催しました。

前半の知事による講話では「あおもりの元気をつくる人づくり」をテーマに、県の基本計画で掲げた「チャンス、チャレンジ、チェンジ」や地域の元気づくりについて、軽快かつパワフルにお話をいただきました。

後半では、地域の元気づくりのためにチャレンジしたいことについて、知事と参加者でフリートークを行いました。伝統文化の継承、子育て、農業等について、参加者それぞれがもつ地域への熱い想いが語られ、知事から激励をいただきました。

※人は青森県にとって「財（たから）」であるという基本的な考えから、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

参加者の声

知事さんとの心の距離が近づいた感じがしました。地域づくりにこれからもチャレンジしていきたいと思いました。

すごくパワフルな知事を身近に感じることができました。「多様なことを許す青森」はものすごくパワーをもらう一言でした。チャンス、チャレンジ、チェンジ!! 想いを行動にしていきたいと思いました。

知事のお話を聞いて「青森は面白くない」ではなく、「青森を元気にしたい」「青森を変えたい」という意識を改めて感じました。来年就活をする県外にいる大学生の息子にも、息子の知らない青森県の「良いところ」を話したいと思いました。

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

ようこそ！Sha・seへ

(sha・se = 青森県総合社会教育センター)

青森県総合社会教育センターの重要な使命の一つに「学び合い・育ち合い文化の創造」があります。今年度から社会教育センターでは、多様な層の多くの人々が集う「賑わいのある社会教育センター」をめざし、各機関等と連携しながら、集いの社会教育センターに「チェンジ」しています。皆さん、新しく生まれ変わったセンターへ遊びに来て、いろいろな人と交流してみませんか？

①「ラーニングスペース」

「1 階展示ホール」・「インフォメーションプラザありす」を、「ラーニングスペース」とし、子どもから大人までの幅広い年代の方々が交流しながら気軽に学習できる場所、各種団体の方々が打ち合わせや準備などで気軽に利用できる場所として開放しています。社会教育センターでは、様々な年代の利用者から情報を収集し、事業に役立てたいと考えています。

○「1 階展示ホール」



《利用者の声》気軽に打ち合わせできる場所となったので、どんどん利用したいです。(一般男性)

○「インフォメーションプラザありす」



《利用者の声》夏は涼しく、机が広くて、友達と一緒に勉強できたのでよかったです。(中学生)

ラーニングスペース奥には団体用のミーティングスペースがあります。

※ラーニングスペースでは、飲食 OK (ただし、ゴミは持ち帰りをお願いします。)、おしゃべり OK です。

インフォメーションプラザありす・・・青森県総合社会教育センター1 階奥にある「総合窓口」です。県民カレッジの案内、受付や当センター研修室利用の受付等を行っています。

○ラーニングスペースの周囲に、ポスターを展示しました。

- ・現在、27 枚のポスターが展示されています。
- ・随時入れ替えをしています。



○通路壁面には、若年層の社会参加活動を推進するため、高校生及び大学生の団体等の専用掲示スペースを設けました。



「青森中央高校読み聞かせ隊」、「青森南高校 JRC 部」の取組を紹介しています。



「キャリアサポ連合」、「選挙へGO!!」の取組を紹介しています。

青森中央高校読み聞かせ隊・・・保育士志望の生徒が中心となり結成。保育所や幼稚園へ出向き、絵本の読み聞かせを行っている団体です。

青森南高校 JRC 部・・・JRC とは Junior Red Cross の略で、「青少年赤十字」という意味です。

【気づき、考え、実行する】という目標を持ち、地域でのボランティア活動を中心に行っています。

キャリアサポ連合・・・高校生とのワークショップで将来の夢や目標を一緒に考えます。県内の多くの大学の学生が参加しています。

選挙へGO!!・・・青森中央学院大学、青森公立大学の学生が中心となり、選挙啓発活動や小中高等学校での模擬選挙を行っています。特に若者の投票率向上に力を入れています。

②「エントランスホール」

○当センターの情報コーナーの他、各市町村の広報誌や県民カレッジ連携機関の情報コーナー、視覚・聴覚障害者情報センターの活動内容など様々な情報コーナーを設けました。



青森県総合社会教育センターのコーナーです。



県内40市町村の広報誌があります。



青森県視覚障害者情報センター(左) 青森県聴覚障害者情報センター(右)のコーナーです。

③「ほのぼのルーム」

○子育て中の保護者が気軽に集まり、情報交換できるスペースとして開放しました。

- ・子育て支援団体や読み聞かせサークルなどでの利用もできます。
- ・飲食OKです。

(ゴミは持ち帰りをお願いします。)

(初めて利用するとき、インフォメーションプラザありすにて**利用手続きが必要**です。)



《利用者の声》部屋がきれいで、とてもいい感じ です。(ママ)



ほのぼのルームに「おしらせコーナー」を設置しています。

④「あそびの広場」

○屋外での交流の場、子どもの遊び場、団体の活動の場として開放しました。

- ・芝生席、テラス席を設置しています。
- ・芝生への出入りは自由です。子どもたちが元気に遊んでいます。



⑤「2階アートスペース」

○「画伯のたまご」

- ・小中学生の絵画作品約60点を展示しています。
- (1ヶ月ごとに作品の入れ替えをします。)

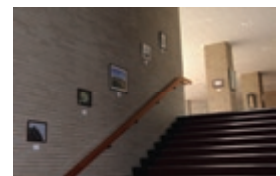


作品展示予定

9月 大野小学校の作品
10月 金沢小学校の作品
11月 甲田小学校の作品

○「アートギャラリーsha・se」

- ・大研修室前スペースや階段にも絵画や写真など多数の作品を展示しています。この他にもセンター内には書道や彫刻、油絵など多数の作品が展示されています。是非ご覧ください。



⑥「自主学習室」

○講座等で使用していない研修室を「自主学習室」として開放しています。利用できる自主学習室は、インフォメーションプラザありすにて確認してください。

- ・ラーニングスペースとは異なり、こちらは、**飲食、おしゃべり NG**です。
- (初めて利用するとき、インフォメーションプラザありすにて**利用手続きが必要**です。)



※1階や2階各研修室では、**無料Wi-Fiによるインターネット接続**もできます。

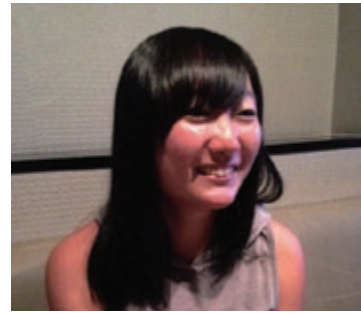
講座受講生のビフォーアフター（第4回）

東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科

栩内 里菜（とちない りな）さん

平成26年度「未来の青森県を担う若人育成講座」受講生

若人育成講座を受講して 人との関わり、つながいを学ぶ



（栩内 里菜さん）

Q なぜこの講座を受講しようと考えましたか？

母校の三本木農業高校の先生から「地域活動をやってみないか。他校の生徒も参加するので刺激を受けてスキルアップできるよ」と勧められたのがきっかけでした。

Q 印象に残っている講座を教えてください。

平成26年10月13日（月・祝）に、十和田市のコミュニティカフェ『ハピたの』で、「十和田を知ろう！」をテーマに、他校の生徒達と協力しながら、私たちが講座の中で企画した実践活動を行った第5講座が印象に残っています。

Q その時の実践活動の内容を教えてください。

活動内容は①映像による十和田市紹介②ハロウィン仮装模擬体験で記念写真をプレゼント③親子でアロマキャンドル製作体験④牛乳パックの底で作ったコマ遊び⑤自由お絵かきコーナーの設置などです。

Q 第5講座の『ハピたの』の様子を教えてください。

当日は親子連れや子ども達、高齢の方々など多くの来場者で賑わいました。『ハピたの』のスタッフの方々には、活動場所の提供、また十和田市で収穫した野菜を使った限定ランチメニューを提供していただきました。私たち受講生のみならず、地域の大人の支えなくして実践活動は成立しませんでした。この講座に参加して、地域の方々とのつながりを持てたこと、地域貢献ができたことに対して、とてもやりがいがあったと感じています。

Q 本講座で得たことを教えてください。

2つあります。

1つめは、人との関わり方についてです。第1～3講座では年齢の近い中学生・高校生同士の関わり方、グループ運営の仕方



牛乳パックの底で作ったコマ遊び

を学び、実際に「ハピたの」カフェで実践活動を行うときには、小さなお子さんをはじめ高齢の方や、お母さんたちなど幅広い世代の方と目線を合わせ、年齢に応じた話し方ができたことです。

2つめは、人とのつながりです。講座に参加する前は自分の高校の仲間としか接する機会がありませんでしたが、講座に参加したことで他の高校の受講生とも仲良くなり、時々連絡するようになり、たくさんの人との交流が現在も続いています。



親子でアロマキャンドル製作体験

他にも、物事を進める上で、事前にやりたいことを具体的にまとめ、計画し、早めに行動することの大切さも学びました。これは私の人生においてとても大きな収穫だったと思います。

Q 講座での学びを、現在の大学生活で生かしている（実践している）ことはありますか？

人とのコミュニケーションの取り方を生かしています。講座受講をきっかけに、積極的に他者へ働きかけるようになりました。これはすべての講座を通して、たくさんの人と交流できたことが大きな理由だったと思います。今後は、大学で学んでいることを生かし、青年海外協力隊隊員として途上国支援を経験し、農業高校の教員として働きたいと考えています。

若人育成講座…中学生、高校生が地域の課題を見つけ、自らの思いを社会の中で実現させる行動力を身につけることを目的とした講座です。（全7回）講義・演習、仲間との地域活動体験等、地域での活動を通して、コミュニケーション力や実践力をつけることができます。

平成26年度は53人の受講生が参加しました。